

今治市中心市街地 デザインブック

【今治市中心市街地まちづくり構想】



今治市
2023年3月

編集・発行 今治市

本資料に関するお問い合わせは
〒794-8511 愛媛県今治市別宮町1丁目4番地1
本庁第2別館6階
魅力都市創生課 TEL 0898-36-1508

『今治市中心市街地まちづくり構想』とは

今治市では、人口減少や高齢化が進行する中、今後も持続可能な都市づくりを実現するために具体的かつ現実的なまちづくり構想の作成が求められています。

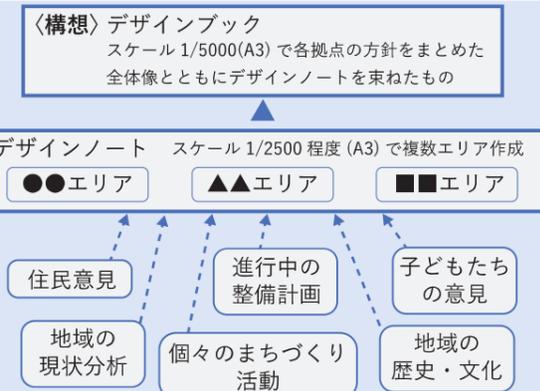
統計データの分析や現地踏査、まちなかで活動されている関係者へのヒアリング調査等をおこない、エリア毎の課題や意向を踏まえた将来像を空間デザインとともに表現したデザインノート※を作成し、『今治市中心市街地まちづくり構想』（デザインブック※）としてまとめることで、中心市街地の魅力や活力の向上を図ることを目指します。



※デザインブック / デザインノートとは

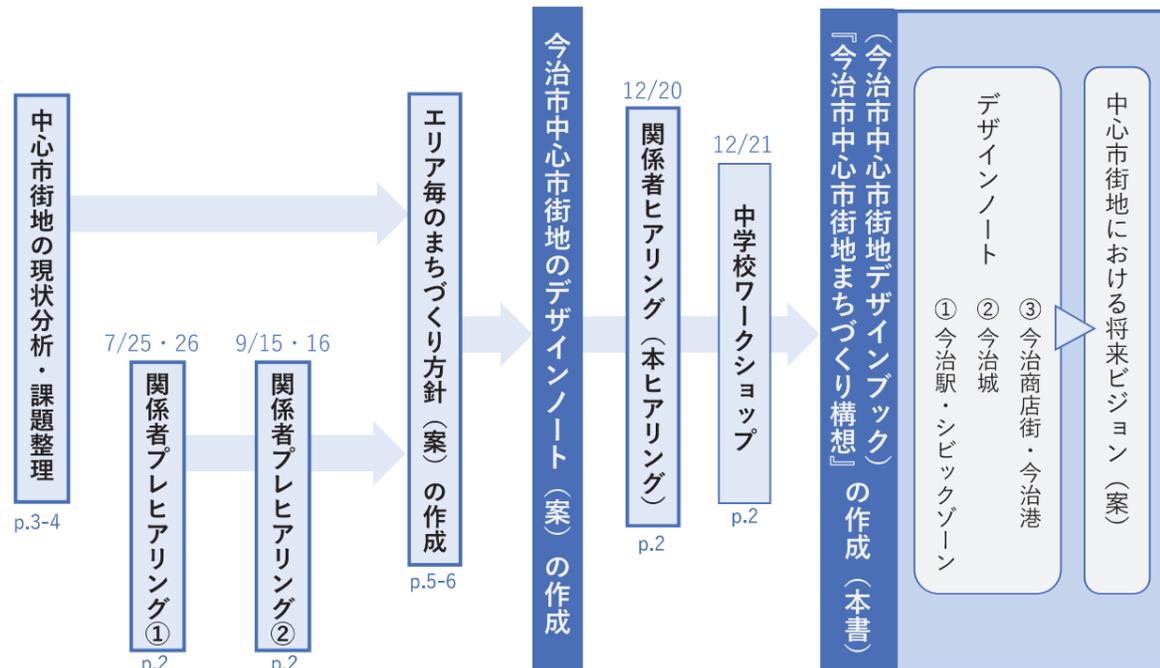
都市では、公共事業やまちづくり活動など多様な主体が活動しています。それぞれの取り組みは時期や確度に差がありますが、相互に影響するものであるため、連携して進めていくことが望まれます。

そこで、将来像を検討するプラットフォームとして各取組みの情報を統合し、空間イメージとともに示したものがデザインノートです。



『今治市中心市街地まちづくり構想』の作成プロセス

現状分析・課題整理とまちなかで活動されている関係者へのプレヒアリングをもとにエリア別の今治市中心市街地のデザインノート（案）を作成しました。このデザインノート（案）をベースに、本ヒアリング・中学校ワークショップをおこない、デザインノートと中心市街地における将来ビジョン（案）をまとめた『今治市中心市街地まちづくり構想』（今治市中心市街地デザインブック）を作成しました。



関係者ヒアリングの実施

中心市街地の再生に向けた具体的かつ現実的な取組を進めるため、今治市のまちなかで活動されている関係者の方へのヒアリング調査を行いました。ヒアリング調査はプレヒアリングと本ヒアリングの2段階で実施しました。



プレヒアリングの様子 (220725)



プレヒアリングの様子 (220915)



プレヒアリングの様子 (220915)



本ヒアリングの様子 (221220)



本ヒアリングの様子 (221220)



本ヒアリングの様子 (221220)

中学校ワークショップの開催

今治東中等教育学校の生徒（3年生）の皆さまにご協力いただき、今治の現状を学び、将来を考えるワークショップを開催しました。中心市街地について班で意見を出し合った後に、生徒の皆さんそれぞれで今治市の将来像を考えてもらい、発表と投票をおこないました。



開会の様子



班で意見を出し合う様子



班で意見を出し合う様子



班で意見を出し合う様子



班で意見を出し合う様子

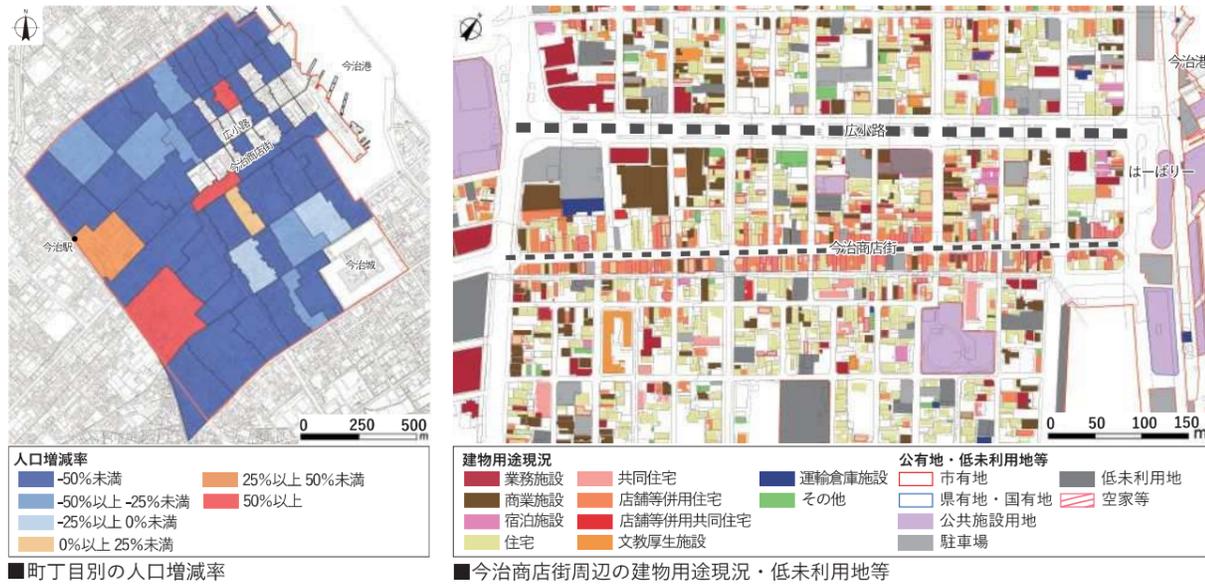


貼り出した将来像に投票する様子

今治市中心市街地の現状分析・課題整理

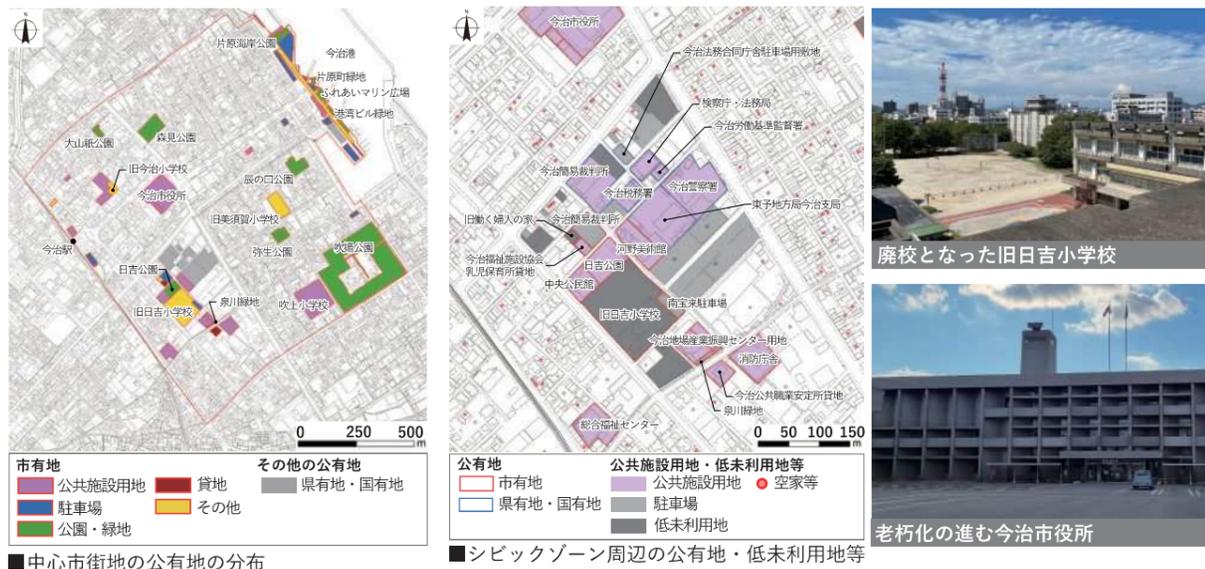
人口・建物用途

- 人口増減率より中心市街地全体で人口が減少傾向にあることがわかる
 - 中心市街地の賑わいを支えてきた今治商店街は空家・空き店舗が増え、シャッターが目立つ
- 今治港・シビックゾーンをつなぐ今治商店街・広小路の2軸、主要観光地である今治城、交通結節点である今治駅、これら中心市街地全体で連携してまちなかの賑わい創出を目指す必要がある



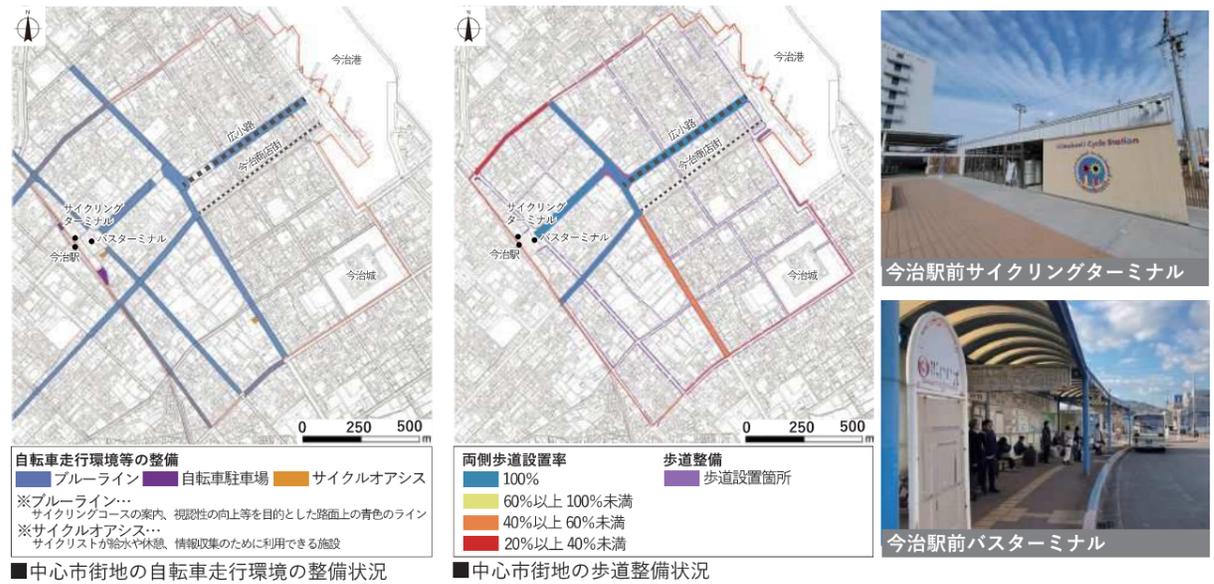
公共施設・公有地

- 今治市役所周辺や今治港周辺に公共施設・公有地が多く分布している
 - 公園や廃校となった旧小学校などのまとまった面積のある公有地がある
 - 公共施設が集積するシビックゾーンでは低未利用地が多く、老朽化した施設も多い
- 公共施設の再編や低未利用地の有効活用の検討が必要となっている



交通

- 今治駅前にはバスターミナルやサイクリングターミナルが整備され、主要な交通結節点である
 - 中心市街地において歩行者・自転車空間の整備は十分とは言えず、市を代表する観光地である今治城へのアクセスも車が主となっている
- 今治駅をはじめとする交通結節点を強化し、回遊ルートの設定、自転車・歩行者空間の質と量の向上が求められている



現状分析より抽出された今治市中心市街地の課題

人口・建物用途

● エリア間で連携したまちなかの賑わい創出

公共施設・公有地

★ 公共施設の再編と低未利用地の有効活用

交通

◆ 交通結節点の強化と歩行者・自転車動線の質と量の向上

現状分析より抽出された3つの課題をもとに
エリア毎のまちづくり方針（案）を作成します



エリア毎のまちづくり方針（案）の作成

エリア1 シビックゾーン周辺

エリアの特徴・課題

- ★ 東予地方局今治支局や今治税務署などの老朽化が進んでおり、施設の再編を行う必要がある
- ★ 文教施設である中央公民館や河野美術館、保険・子育て支援施設である中央保健センターは老朽化が進んでおり、市民ニーズを十分に満たしていない
- ★ 駐車場や利用されていない公有地等、一定の低未利用地がみられる
- ★ 芝っ広場（大丸跡地）は中心市街地の中央部に位置し、周辺を繋ぐ重要な場であるが、運営・管理上の問題から利用しづらいという意見がある
- ★ 旧日吉小学校の活用については子どもの遊び場・チャレンジショップの出店などの意見がある
- ◆ 県の無電柱化事業、自転車走行環境整備が計画・検討されている

シビックゾーン周辺のまちづくり方針（案）

- ・ 公共施設の再編を契機とした施設集約により、オープンスペースや歩行者空間の質と量を拡充する
- ・ 子どもを中心とした様々な人がつどい、安心して利用できる新たな拠点の整備を検討する
- ・ Park-PFIなどの官民連携の事業手法の活用を検討し、オープンスペース周辺に住民活動が生まれるような土地利用を戦略的に創出する
- ・ 周辺エリアのにぎわい創出に寄与するように施設配置等については、中心市街地全体のネットワークを考慮して検討する
- ・ 県の自転車走行環境整備と連携したオープンスペース配置や歩行者空間整備をおこない、街区内と周辺エリアの連携を強化する

エリア2 今治駅～市役所周辺

エリアの特徴・課題

- ◆ 今治駅は今治内外の人が集まる場となっているが、拠点機能としては不十分であり、駅からまちなかへ誘導する仕組みが不足している
- ★ 市役所周辺は、丹下健三によって設計された建築物が集積しているが、老朽化の進行等がみられるとともに、住民にとって施設が利用しづらいという意見もある
- ◆ 広小路の道路区間の再編が計画・検討されている

今治駅～市役所周辺のまちづくり方針（案）

- ・ 今治駅は中心市街地の重要な交通結節拠点として強化し、現況のサイクリスト関連施設と連携するなど、次世代の交通結節拠点としての機能を充実させる
- ・ 市役所周辺は公共施設の再編を契機とする、文化機能など新たな施設機能の付加により、まちなかの賑わい創出に寄与する拠点として再構築する

エリア3 今治港周辺

エリアの特徴・課題

- 「みなと再生」による空間整備が進むとともにマルシェが実施されるなど、一定の賑わいがみられる
- みなと交流センターは多様な用途でのニーズがあるため、更なる利活用についての検討が求められる
- 「交流」の港として、賑わい創出に寄与する港湾施設の新たな利活用方法についての検討が求められる

今治港周辺のまちづくり方針（案）

- ・ 海を臨む立地を活かすとともに、今治商店街、広小路を介して市役所周辺、シビックゾーンをつなぐウォーカブルなまちづくりの軸を形成するにぎわい創出の拠点づくりをおこなう
- ・ 今治港周辺エリアで活動している団体との連携を図り、現在の活動が生む人流が他エリアに波及するまちづくりの展開を推進する

エリア4 今治商店街周辺

エリアの特徴・課題

- 今治商店街はアーケードがあり、天候に左右されず歩きやすく今治港までのアクセス路としての機能を有するが、空き店舗が多くみられ、賑わいはほとんどみられない
- 商店街やまちづくり団体等と連携した子育て関連イベントが行われるなど、まちなかの新たな空間としての活用もみられる
- ◆ 広小路は側道をもつ幅員道路で豊かな街路樹がある路線であるが、車のためだけの空間となっている
- ◆ 広小路では県による道路空間の再編が計画・検討されている

今治商店街周辺のまちづくり方針（案）

- ・ 既存のアーケードを活かした全天候型のオープンスペースとして活用を積極的に図る
- ・ 今治港のマルシェやイベントの開催時に広小路の幅員をいかした社会実験を行うなど、中心市街地の賑わい軸の形成に向けた取り組みを実施する
- ・ 広小路の県の整備事業と連携し、歩きやすく多様な交通モードが共存して賑わいを創出する交通空間整備をおこなう

エリア5 寺町周辺

エリアの特徴・課題

- かつての今治の中心的な場所として栄えていた11の寺社が集まるエリア
- ★ 老朽化が進行する木造家屋や空き家が多くなっている

寺町周辺のまちづくり方針（案）

- ・ 今治の歴史や生活文化を伝える「まちあるき」エリアとしての整備、取組の充実をはかるとともに、地域教育への活用を推進する

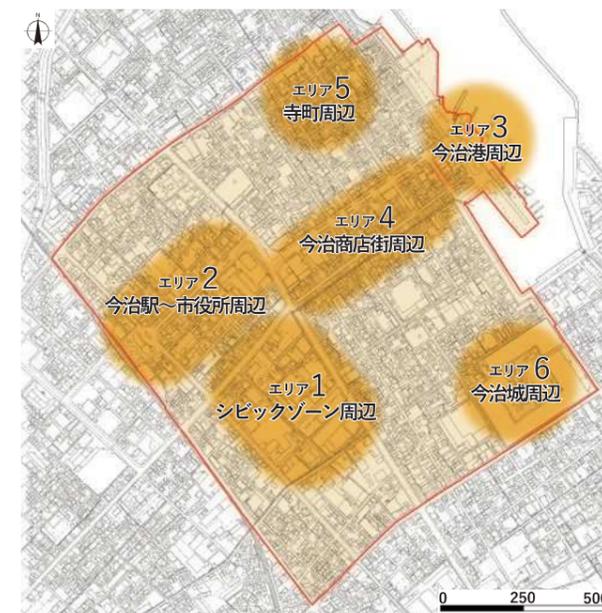
エリア6 今治城周辺

エリアの特徴・課題

- 今治市を代表する主要観光地であるが、まちなかの賑わい創出拠点としての機能を十分果たしておらず、他のエリアとの連続性がみられない
- 年末年始には屋台が見られ、夜にはライトアップされる他、イベント会場としてのニーズがある

今治城周辺のまちづくり方針（案）

- ・ シビックゾーンと今治港周辺エリアを結ぶまちなかの賑わい創出の拠点として機能を充実させ、ウォーカブルなまちづくりに向けた回遊ルートの設定と自転車・歩行者空間の質と量の充実を図る



ヒアリングや調査で得た情報とエリア毎のまちづくり方針（案）をもとにデザインノートを作成し、将来ビジョンにまとめます

中心市街地における将来ビジョン(案)

今治駅～市役所周辺

- まちづくり方針(案)
 - ・中心市街地の重要な交通結節拠点として強化
 - ・現況のサイクリスト関連施設と連携するなど、次世代の交通結節拠点としての機能を充実
 - ・公共施設の再編を契機とする、文化機能など新たな施設機能の付加により、まちなかの賑わい創出に寄与する拠点として再構築
- まちづくりアイデアの例
 - ・今治駅前モビリティハブを整備、歩行者空間/自転車走行空間を充実する
 - ・多様な交通手段で中心市街地を巡ることができるよう、新モビリティの導入、周遊バス、EVバスの運行をする
 - ・今治市公会堂を改修し、音響と楽屋環境を改善する
 - ・公共施設の再編時には、丹下建築をいかしたミュージアムなど今治の文化をいかした活用をする

シビックゾーン周辺

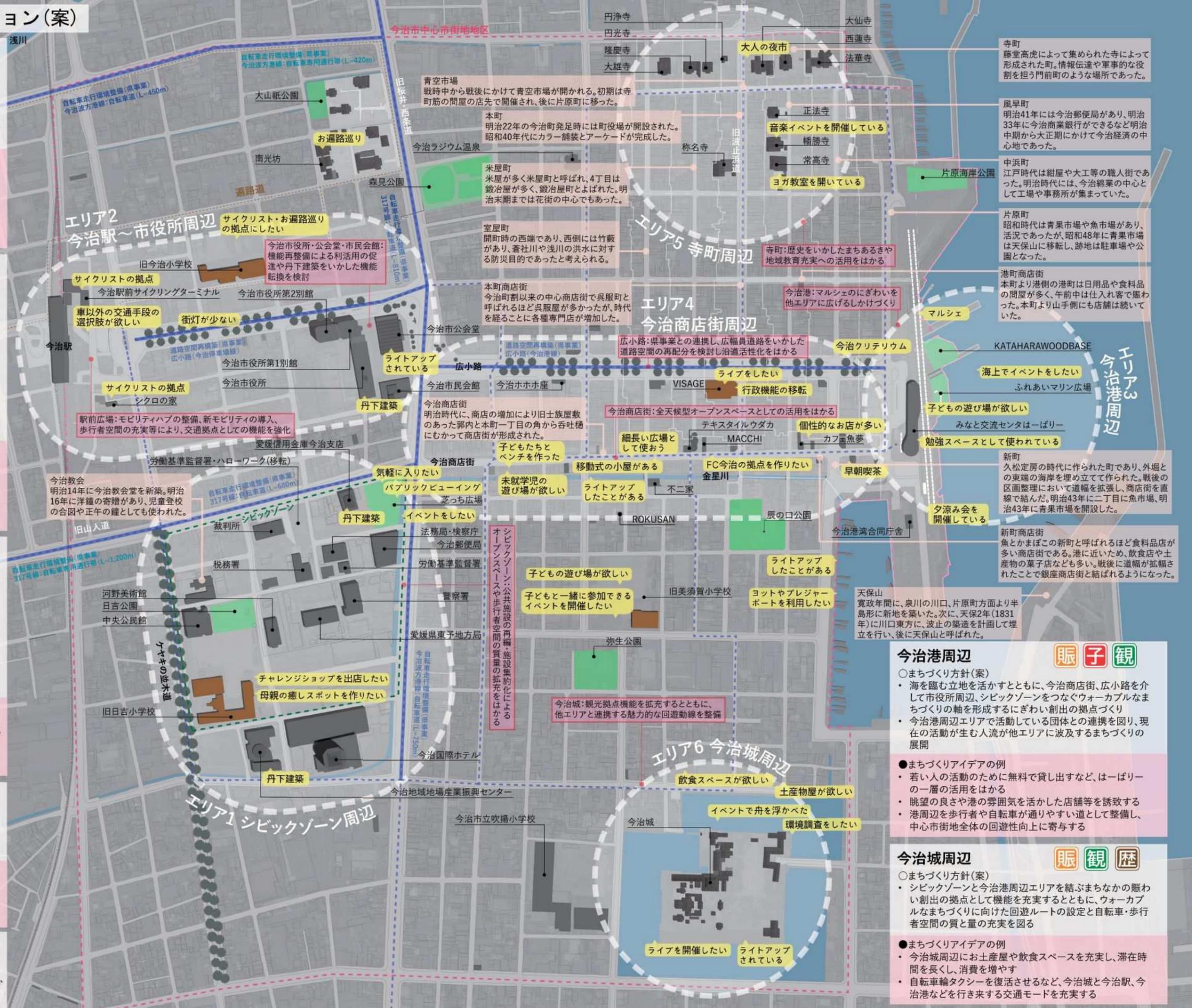
- まちづくり方針(案)
 - ・公共施設の再編を契機とした施設の集約化により、オープンスペースや歩行者空間の質と量を拡充
 - ・子どもを中心とした様々な人がつどい、安心して利用できる新たな拠点を検討
 - ・Park-PFIなどの官民連携の事業手法の活用を検討し、オープンスペース周辺に住民活動が生まれるような土地利用を戦略的に創出
 - ・周辺エリアのにぎわい創出に寄与するように施設配置等については、中心市街地全体のネットワークを考慮して検討
 - ・県の自転車走行環境整備と連携したオープンスペース配置や歩行者空間整備をおこない、街区内外と周辺エリアの連携を強化
- まちづくりアイデアの例
 - ・芝っ広場を、空間的にまちに対して開き、気軽に利用できる仕組みとすることで、皆が使いやすい広場にする
 - ・マルシェの開催に合わせて芝っ広場でイベントをおこなうことで、今治港との間に人の往来が生まれる
 - ・街中に子どもを遊ばせながら、親が癒される場所をつくる
 - ・親子で参加できるフェスやイベントを企画・開催する

今治商店街周辺

- まちづくり方針(案)
 - ・今治港周辺エリアと市役所、シビックゾーンをつなぐ、まちなかの賑わい創出に向けた重要な路線
 - ・既存のアーケードを活かした全天候型のオープンスペースとして、未就学児の遊び場やイベント会場としての活用を積極的に図る
 - ・今治港のマルシェやイベントの開催時に広小路の広幅員をいかした社会実験を行うなど、中心市街地の賑わい軸の形成に向けた取り組みを実施
 - ・広小路の県の整備事業と連携し、歩きやすく多様な交通モードが共存して賑わいを創出する交通空間整備をおこなう
- まちづくりアイデアの例
 - ・商店街を屋根付き広場としてみたてWSをとおして整備する
 - ・空き地や空き店舗を、未就学児の遊び場や宿泊施設、子どもと一緒に野菜を育てる畑などに活用する
 - ・広小路へのキッチンカーの出店、新モビリティの導入にむけた社会実験を計画する

寺町周辺

- まちづくり方針(案)
 - ・商業的なまちなかの賑わい創出よりも、今治の歴史や生活文化を伝える「まちあるき」エリアとしての整備、取組の充実をはかるとともに、地域教育への活用を推進
- まちづくりアイデアの例
 - ・日中はヨガ教室、夜は大人の夜市やライブイベントで人が訪れるエリアにしてい
 - ・寺町や町名の由来や歴史を伝える案内板やサインを整備
 - ・案内板やサインを頼りに歴史散策・地域教育をすすめる



今治港周辺

- まちづくり方針(案)
 - ・海を臨む立地を活かすとともに、今治商店街、広小路を介して市役所周辺、シビックゾーンをつなぐウォークラブルなまちづくりの軸を形成するにぎわい創出の拠点づくり
 - ・今治港周辺エリアで活動している団体との連携を図り、現在の活動が生む人流が他エリアに波及するまちづくりの展開
- まちづくりアイデアの例
 - ・若い人の活動のために無料で貸し出すなど、はーばりーの一層の活用をはかる
 - ・眺望の良さや港の雰囲気を活かした店舗等を誘致する
 - ・港周辺を歩行者や自転車が通りやすい道として整備し、中心市街地全体の回遊性向上に寄与する

今治城周辺

- まちづくり方針(案)
 - ・シビックゾーンと今治港周辺エリアを結ぶまちなかの賑わい創出の拠点として機能を充実するとともに、ウォークラブルなまちづくりに向けた回遊ルートの設定と自転車・歩行者空間の質と量の充実を図る
- まちづくりアイデアの例
 - ・今治城周辺にお土産屋や飲食スペースを充実し、滞在時間を長くし、消費を増やす
 - ・自転車輪タクシーを復活させるなど、今治城と今治駅、今治港などを行き来する交通モードを充実する

--	--	--	--	--	--	--	--



凡例
 現在・過去のイベント、取組み
 進行中の整備計画
 まちづくりのアイデア
今治デザインノート(今治城)
 愛媛県今治市
 23.03.28 S=1:2500(A3) 上條・福島都市設計事務所
 Kamiya and Fukushima and Associates.

試案

※この資料は、イメージを共有するための試案であり、関係者の同意を得て作成したものではありません。